キャラクター名

ミリィ

プレイヤー名

ポジション	ジャンク	**享年**	13
メインクラス	ゴシック	**暗示**	罪人
サブクラス	バロック	**寵愛点**	18

初期配置	煉獄
最大行動値	9

能力値	クラス	修正	合計
武装	0	0	0
変異	3	0	3
改造	1	1	2

記憶のカケラ	内容
牧場	多様な友人たちに囲まれて、夜空を仰ぐ日々。私にはこの場所しかない。
隣→少年	あなたはひとりではなかった。あなたに微笑みを向けてくれる男の子が、いた。→この少年を知っている気がする。どこで出会ったのだろう…名前は…？関係性って…？ ー横にいた時間を思い出せない。
支配	この場所に私はいた。暴力で支配された世界。 食料は下賤な支配者が独占し、弱者は見下されながら残飯を与えられていた。
少年の最期	その手は、いつも温かくふっここの場所にいた。私は温かいあのかわりに、食事の出数を我慢のにちっていた…。 部屋の多くの監視をさらい、彼に連れ出そうとする度に怒りが湧いてここに戻ってくる。 戻ってきた時にみたのは、暴徒にさが神経を破壊に、体内の血液を飲まれ、そして頭部を切り落し、そして頭部を切り落されている彼だった。
少女の末路	私は彼を抱えている。なぜか、彼は微笑んでいる。私の手は、服は、顔は、もう血でべったりなのに。 でも、なぜ、こんなに、愉快なのだろう。
黒幕	ビルが崩れた。ここの上に、きっと彼が待ち受けている。 ー いや、 ー 時の流れ。 ー 私は、 ー 時の流れ。 ー 時の流れ。 ー 時の流れ。